

県庁セミナー開催される



将来の選択肢の一つに

▲善利さんの説明を聞く生徒たち

12月10日、本校SS教室で滋賀県庁職員しごとセミナーが行われた。このセミナーは本校OBによるもので、滋賀県人事委員会事務局の任用・審査係の係長である善利恵子さんによる県の業務紹介があったあと、総務部長長振興課の久保田耕史さんと長浜土木事務所の曾我愛実さん、湖北農業農村振興事務所の中川拓也さんによる座談会が行われた。

まず最初に善利さんは「県の組織には総合政策部や土木交通部、県民生活部など多岐にわたる仕事がある。同じ職員でも仕事は全く違い、県というフィールド上で滋賀を支える仕事と良くする仕事に分かれる。小さな仕事から大きな仕事まで県庁のすべての仕事が滋賀を支えること、良くすることにつながっている」と説明された。

次に行われた座談会ではセミナー参加者が3班に分かれて話を聞いた。久保田さんは総務部の仕事を「総務部は県全体の仕事の取りまとめをしたり、日本全体に滋賀県の良い仕事を広めたりするのが主な仕事だ。地方自治法という公務員がするべきことなどが示されている法律に従って、市町村から寄せられる法律に関する疑問に答えたり提案や助言を行ったりしている」と話され、公務員になった経緯について「学生のころから地元のために仕事をしたいと思っており、大事で途上国へ行ったときに舗装されていない道を見て地域をきちんと整備することの大切さを実感した。またその国の外国人から生まれたところのために働くのは自然なことだと言われ、地元に関われる公務員になろうと思った」と振り返られた。

次に曾我さんは土木事務所の仕事について「土木の仕事は道路や河川の崩れを直すことだ。とは言っても実際に工事をするのではなく設計図や予算を考え、発注したりするのが主な仕事だ」と話され「技術系の職員はあまり大きな異動はないが、総務部などの行政職はさまざまなおきに異動しなければならない。その分たたくさんの経験を得ることができると、自分に向いていることが見つかると思う」と笑顔を見せられた。また公務員になるための必要事項について「資格がなければいけない、大学へ進学しないが、それなりに勉強はしなければならない。専門の勉強をしていると幅広い選択肢を得ることができる」と助言された。

中川さんは農業振興事務所の仕事内容について「この仕事は農家などに行き技術や知識の普及指導をメインに行う仕事だ。経営相談や栽培指導を行い、地域農業の活性化を図っている。他の県庁の仕事はあまり県民に会うことが少ないがこの部は良く県民に会える部でもある」と微笑まれた。また公務員の良さを「今の仕事は楽しく、しんどいと思うことも少ない。残業もする人としらない人がいるが、それは個人の仕事のやり方次第だ」と思う。異動は基本的に県内で、県外に行く場合は主に希望を出した人が行くこととなる。公務員は異動先にも融通が効き、休みも取りやすいので女性にも優しい職場だと思おう」と笑顔で勧められた。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部
彦根市金亀町4番7号